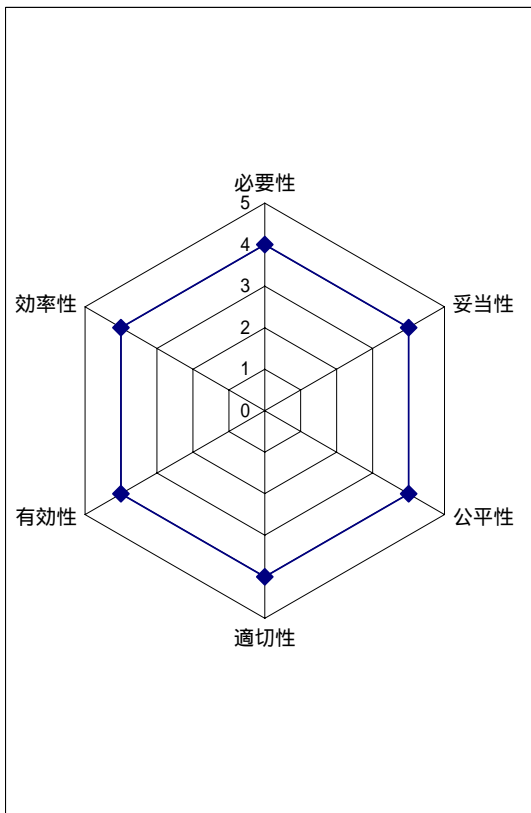


事務事業名	都市公園トイレ整備事業	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	都市計画課
施策体系	その他	担当係名	公園緑花係
施策	その他		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	トイレの老朽化により、公園利用者に不便と不快感を与えている。トイレ施設の改修整備を行い、それらの改善を図る。		
事業の期間(開始/終了)	平成15年 4月/	平成27年 3月	
根拠法令、条例、規則など	都市公園法、結城市都市公園の設置及び管理に関する条例・施行規則		
事業が対象としている人(モノ)	公園利用許可数		
具体的な活動内容	自治協力員や、公園愛護協力会員等より、整備の要望の有無を確認する。		
	確認後、使用状況等を調査する。		
	調査後、適正な設計額により予算要望を行い事業進捗を図る。		
事業の成果	平成26年度までに、12箇所の公園トイレを整備する。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 少子化に伴い、子供の利用者は減少傾向にあるものの、高齢者層の利用は増加していくと考えられるため、トイレの整備等が必要になってきており、事業の有用性は高まっていると考える。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 公園トイレは、公共性の高い施設なので整備は行政が積極的に行うことが妥当である。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 利用者を限定できる施設ではないので、便益の偏りは無いと考える。また、整備公園の選定にしても利用者や地域の方から要望が出ている公園を対象としているので、概ね理解されていると考える。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない これまで事業をするめるにあたり、問題も無いことから適正であると考え。
有効性	4 概ね目標水準に達している 平成26年度まで本事業は計画されており、平成17年度に関しては整備する事が出来なかったが、本年度は整備予算が配当された。これにより、目標値に近づくことが出来たと考える。
効率性	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている) 人員削減のなかでも、事業継続している成果があり、清掃や管理面で効率アップが計られている。

総合評価	トイレ整備後の利用者の反応は、概ね好意的であるため、十分な効果が得られていると考える。
------	---

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	維持継続	中長期的方向	維持継続
	説明	公園整備の年次計画の中で対応するが、公園の隣接者にも配慮し、公園利用者の意見を聞き対応する。			
決定権者判断	決定内容	維持継続			
	説明	公園施設としてトイレは必要不可欠であるので、年次計画をもって整備する。			